

タイ国王陛下(ラーマ九世)追悼文

去る十月十三日に御崩御されました、タイ王国・プミボン国王陛下には、染界の化縁尽き、八十八有余年の天寿を全うせられ、悠々として涅槃寂滅の相を示し、茲に謹んで追悼の辞を申し上げます。

プミボン国王陛下は十代で王位継承され、在位七十年にわたりタイ王国の立憲君主として、国民に敬愛されたとされています。

高尾山には、タイ国王より贈られた釈迦牟尼世尊の真身骨が納められた仏舍利塔があります。この真身骨は昭和六年(一九三二)、当時のシャム王国(現タイ王国)に、ボーイスカウト日本連盟の前身である少年団日本連盟代表団二十一名が派遣され、当時の国王ラーマ七世陛下の客として各地を巡礼、その敬虔な態度が国王陛下に伝えられ、「仏舍利を日本少年団に分与せよ」と勅旨され、拝受して帰国、一時、都慰靈堂に仮安置され、昭和三十一年(一九五六)に高さ十八メートルの白亜の仏舍利奉安塔が完成し、由緒ある仏舍利は、無事高尾山に奉安されたのであります。

プミボン国王陛下はラーマ七世陛下の甥にあたりますので、重ねて心から哀悼の意を表し、安らかなる冥福とお祈りする次第であります。

高尾山薬王院中興第三十二世貫首 隆玄

高尾山仏舍利塔 結縁牌懸仏のおすすめ

高尾山にはタイ王国・王室より授けられた、大聖釈尊の真身骨を奉安してある仏舍利塔があります。そしてその周りを囲むように建立された百観音お砂踏霊場がございます。

御信徒各位には、釈尊との御勝縁を結ばれますよう、仏舍利塔内に結縁牌懸仏(かけぼとけ)をご納仏されることをお勧め申し上げます。

この結縁牌懸仏は、夫々のご家族の先祖代々供養の為に、あるいは講中、参拝団の物故者慰霊の為に、お釈迦様と御信徒の皆様との尊いご結縁のしるしとして、霊名あるいは施主のご芳名を刻み、仏舍利塔内壁面に奉安し、大聖釈尊の聖骨と共に幾久しく供養されるものであります。



尚、お申し込みの方には「御納仏回向之証」をお授け致します。(左の写真)

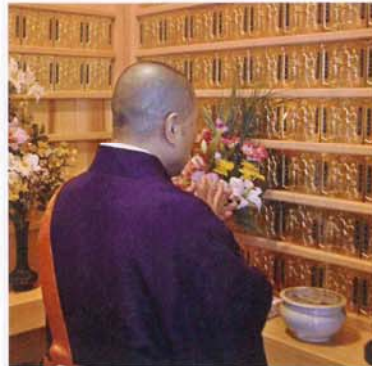


御納仏冥加料 一体 拾万円也

仏舍利塔奉安結縁牌懸仏法要厳修
(九月二十八日)



僧侶の読経の音が響く



壁面の懸仏が懇ろに供養される



法要に先立ち法話が行われた

北島三郎さん 結縁牌懸仏を御納仏される

去る八月十一日、演歌界の大御所、北島三郎さんが高尾山を訪れ、お釈迦様と御縁を結ぶ「結縁牌懸仏御納仏」をお申し込み頂きました。

当日は有喜苑・仏舍利塔を訪れ、塔内にて御自分の名前が書かれた懸仏(本名の「大野穰」)をご覧になりました。



仏舍利塔内結縁牌懸仏奉納者御芳名

- 八王子市 八王子市 大野 穰
 - あきる野市 高玉 伶子 相模原市 大野 徹
 - 戸田市 船木 金次郎
 - 大里郡 内田 恭正
- (順不同・敬称略)